



メーカー
管理用です。

TOTO

壁掛手洗器（角形）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。

安全上のご注意

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



警告

死亡や重傷を負う可能性
がある内容です。



注意

傷害や物的損害※が発生する
可能性がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告



水場使用禁止

浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない

火災や感電の原因となります。商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがのおそれがあります。



禁止

器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線
を通さない

火災や感電の原因となります。水漏れして家財などをめらす
財産損害発生の原因となります。

給水および排水管の真下部にコンセントを設置
したり、フレキホースとコンセントを接触させない
結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因
となります。

屋外および傾斜のあるような壁面、振動の
激しい場所に取り付けない

取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがのおそれがあります。



必ず守る

工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか
確認する

商品が落下したり、外れたりしてけがのおそれがあります。

壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を
入れる

商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。

取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、
コンクリート用プラグ（現場手配）を使用する
取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。



注意



禁止

商品に強い力や衝撃を与えない

商品が破損・落下してけがをするおそれがあります。
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

商品にぶら下がらない

商品が外れてけがのおそれがあります。



必ず守る

設置工事に使用する部材は必ず付属部品および
指定部品を使用する

取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された
方法・注意事項を厳守する

商品が破損・落下してけがのおそれがあります。

⚠ 注意

⚠ 必ず守る	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	商品周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 水が浸入して家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
	水平器を用いて水平に設置する 取付時にけがのおそれがあります。	ねじ部の固定は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、物を載せたりしないよう十分注意する 倒れや落下によりけがのおそれがあります。	工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。	金属露出部や鋭利な部位を扱うときは、軍手などを使用する 取付時にけがのおそれがあります。

使用条件

使用水圧の確認

給水・給湯圧力 { 最低必要水圧（流動時）・・・0.05MPa
最高水圧（静止時）・・・0.75MPa

⚠ 注意

⊘ 禁止	商品に冷水やお湯(85℃以上)をかけない 破損してけがのおそれがあります。	固定部の締め付けは、電動ドライバーを使用しない 電動ドライバーなどの工具を使用すると、手洗器固定部が破損し正常な取り付けができなくなる可能性があります。
--------------------	---	--

部品の確認

【手洗器固定ブラケット】

ブラケット(手洗器)

寸切ボルト
(M6×40、鉄) (2本)

平座金 (M6)
(4個)

ローレットナット
(M6) (2個)

クリップナット
(2個)

十字穴付
座金組込ねじ
(M4×12、鉄) (4本)

十字穴付
トラスタッピンねじ
(5×50) (4本)

クッション材

【排水トラップ(プランによって 同梱内容は異なります)】

【排水トラップ(床排水接続管)】

【ボルトトラップ(壁排水接続管)】

【排水トラップ(壁排水接続管)】

【排水ソケット】

排水ソケット

パッキン(排水口)

【施工説明書】

施工説明書

本書

型紙

施工手順

施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

1 給水管・止水栓の取り付け

1 取り付ける前に必ず給水管内のゴミ、砂などを完全に洗い流す

⚠ 注意



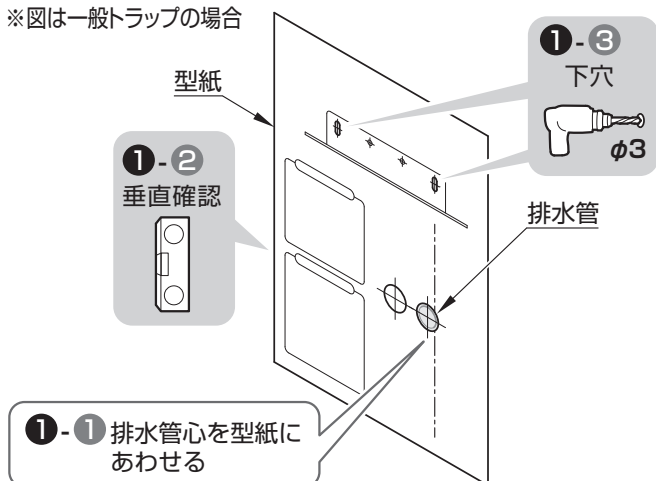
シールテープを必ず巻くこと
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

2 ブラケット(手洗器)の取り付け

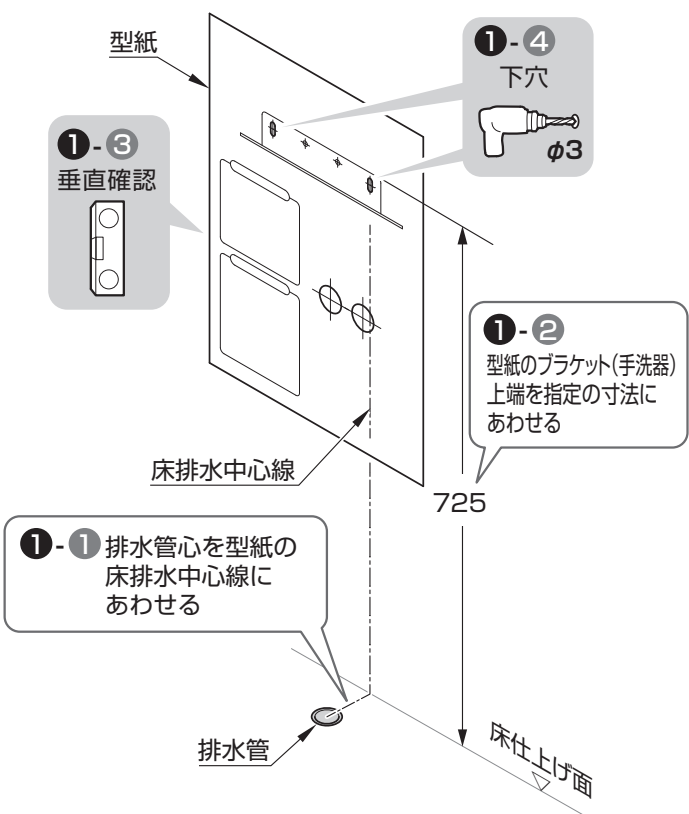
1 型紙を使用して下穴をあける

壁排水の場合

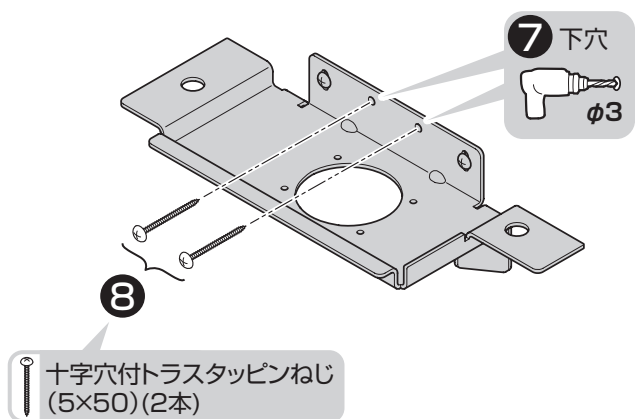
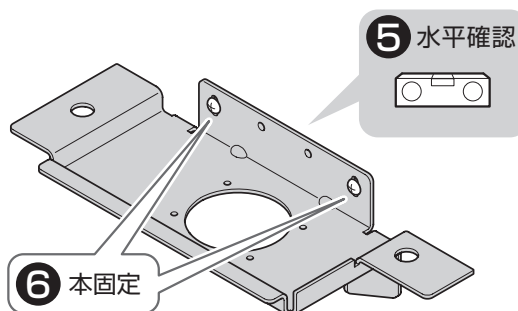
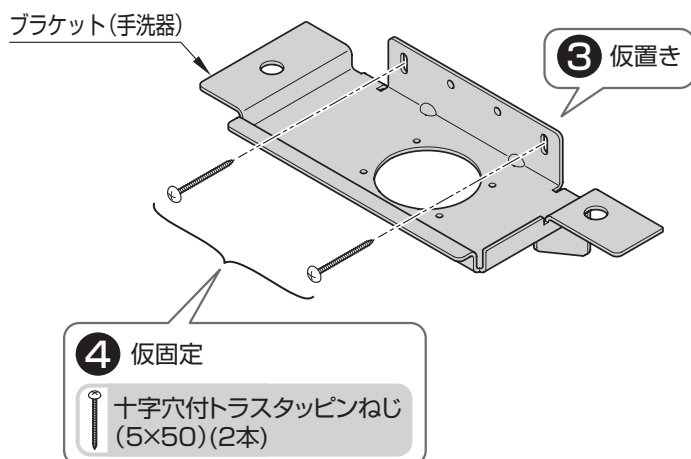
※図は一般トラップの場合



床排水の場合



2 型紙を取り外す



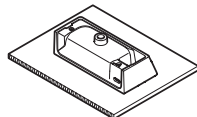
3 クッション材のはり付け

① はり付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る

② クッション材のセパレータをはがしながら、
下記の位置にクッション材をはり付ける

注意

手洗器上面を下側にする際は、
ダンボールなどを敷く
手洗器に傷が付かないようにして
ください。

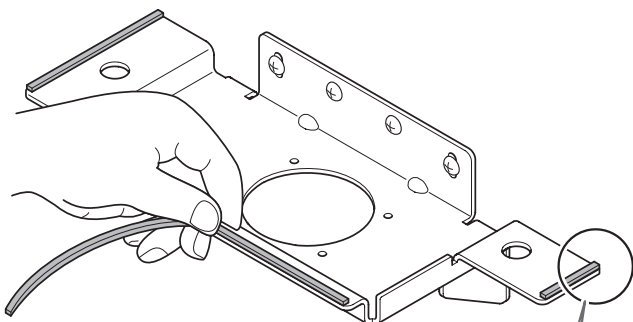


! 注意



必ず守る

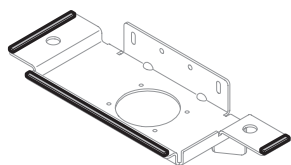
クッション材のはり付けは確実に
水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の
原因となります。



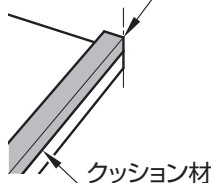
注意

クッション材は引っ張らない

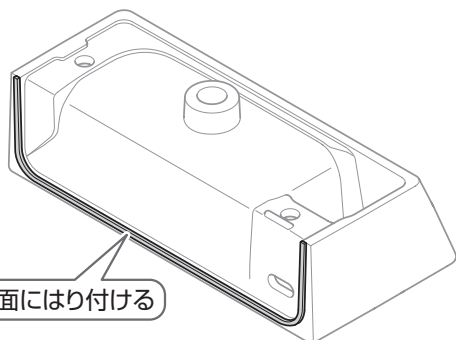
クッション材はり付け位置



ブラケット
(手洗器)端部



クッション材



背面にはり付ける

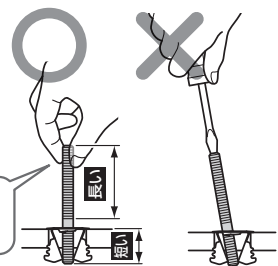
4 手洗器の組み立て

②

寸切ボルト
(M6×40、鉄)
(2本)

手締めで

軽く、手でつまんで、
入るまで締める

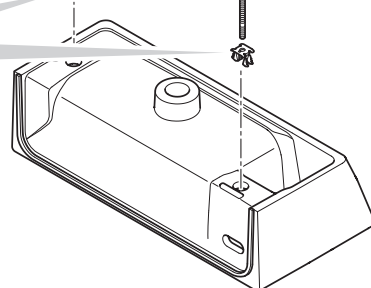


注意

- ボルトをドライバーで深く締めない
ボルトが斜めに入り、陶器がカウンターにおさまらないことがあります。
- 斜めに入ったねじを無理に真っ直ぐにしない

①

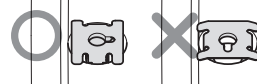
クリップナット
(2個)



注意

- 平らな面にクリップナットを取り付ける
- 陶器とのすき間がなくなるまで、しっかり押し込む

クリップナットが奥まで入らず、
手洗器に馴染みません。



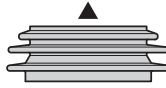
寸切ボルトが途中までしか入らず、
手洗器が固定できません。



5 パッキン(排水口)の取り付け

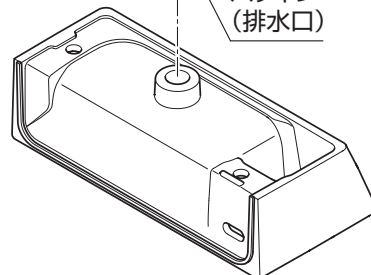
手洗器排水口外周の汚れ
を取り除き、装着する

排水ソケット側



手洗器排水口装着側

パッキン
(排水口)



! 注意



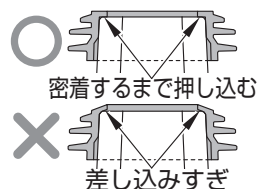
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器
排水口に密着するまで
押し込む
水漏れして家財などをぬらす
財産損害発生の原因となります。



差し込みすぎ

6 水栓金具・手洗器の取り付け

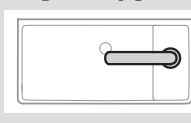
① 水栓を取り付ける

【自動水栓の場合】

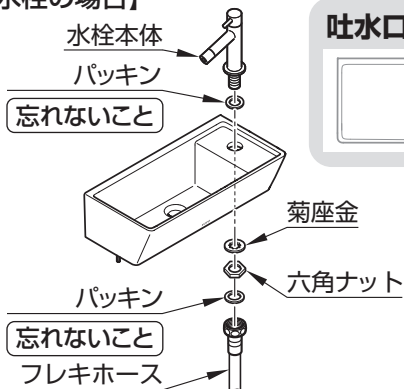
参照 自動水栓の施工説明書を参照してください。



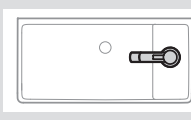
吐水口の向き



【ハンドル式水栓の場合】



吐水口の向き



注意

- ・水栓本体が動かないことを確認
- ・六角ナット・フレキホースの締め付けにナット締付工具を使用すると作業がしやすくなります。



(別売品：TZY15N)

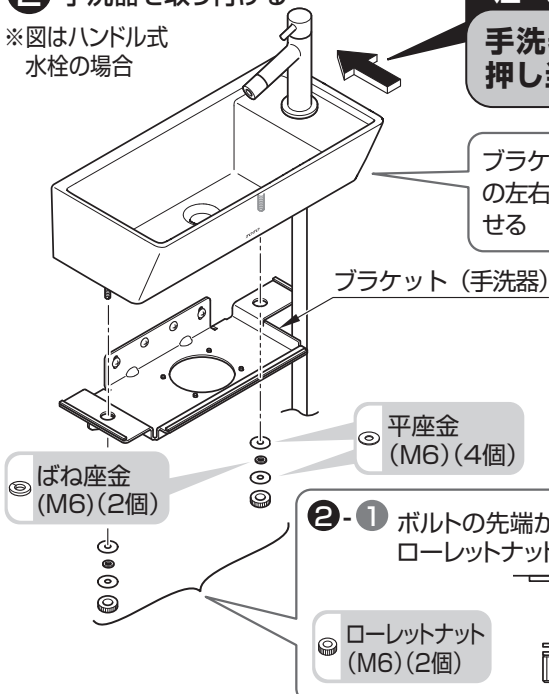
② 手洗器を取り付ける

※図はハンドル式水栓の場合

注意

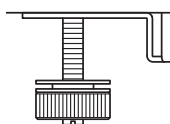
手洗器を壁に押し当てる

ブラケットと手洗器の左右のチリをあわせる



2-1 ボルトの先端が見えるまでローレットナットを入れる

ローレットナット (M6) (2個)



⚠ 注意



水栓部分を持たない
給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生の原因となります。



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

2-2

しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音になることがあります。

手締めで



2-3

ローレットナットを
しっかり締め付ける



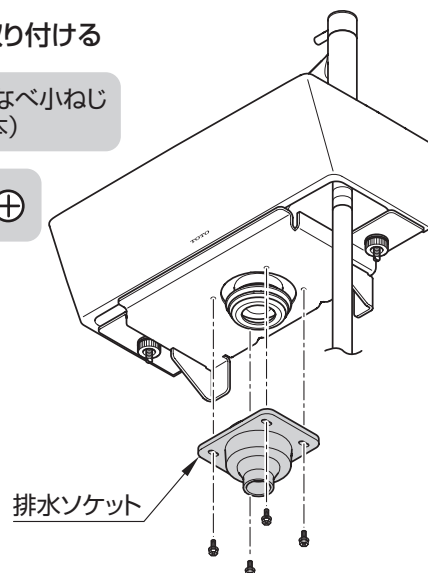
注意

- ・ボルトができるだけ真っ直ぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ・ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認
- ・バックパネル（オプション）の取り付けは、手洗器固定後に行う 参照 バックパネルの施工説明書

③ 排水ソケットを取り付ける

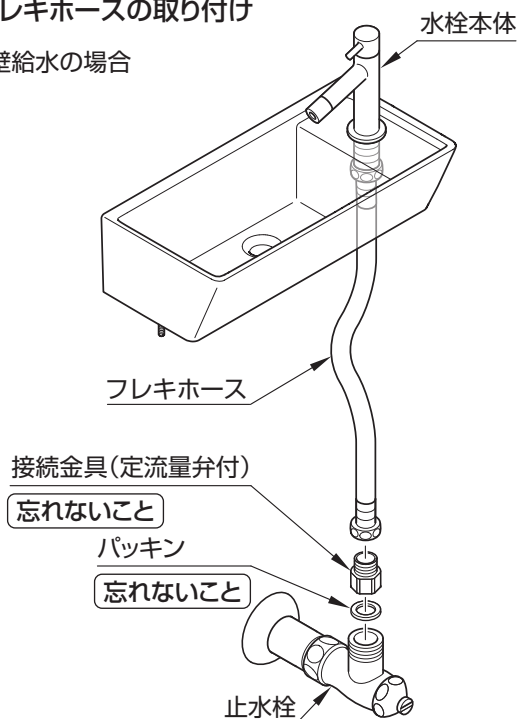
十字穴付座金組込なべ小ねじ (M4×12、鉄) (4本)

手締めで



4 フレキホースの取り付け

※図は壁給水の場合



⚠ 注意



必ず守る

- ・フレキホースを折らない
折れ曲がりによる吐水不良の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・接続金具(定流量弁付)を必ず付ける
水はねして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

注 意

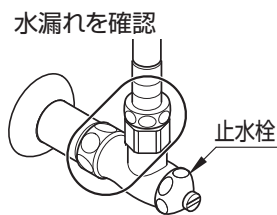
- ・フレキホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意する

フレキホースの最小曲げ半径は 60mm です。それよりも小さく曲げて使用すると、フレキホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。

- ・フレキホースを無理に引っ張らない

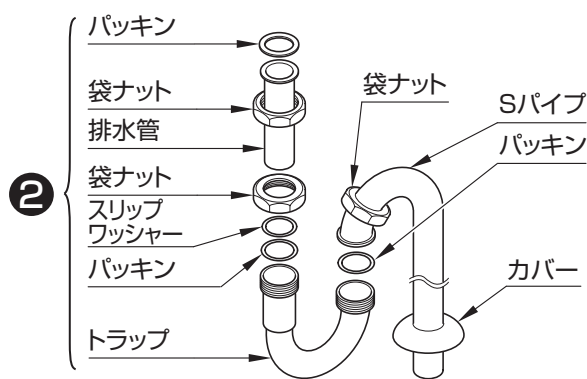
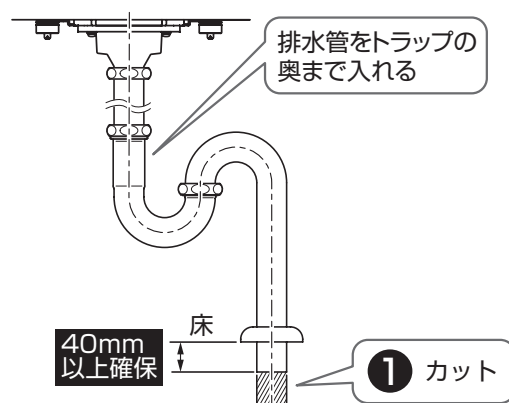
フレキホースが折れる可能性があります。

- ・給水管の各接続部は増し締めする

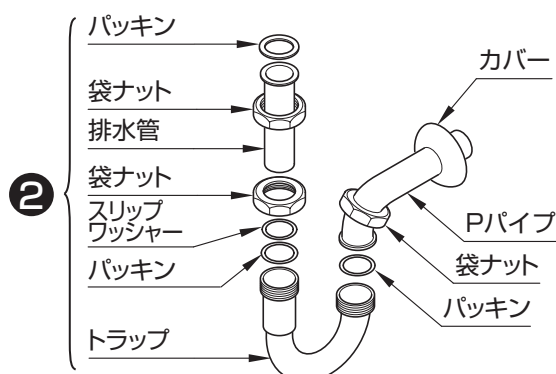
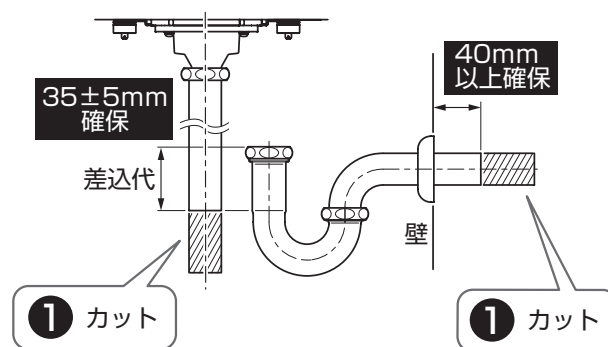


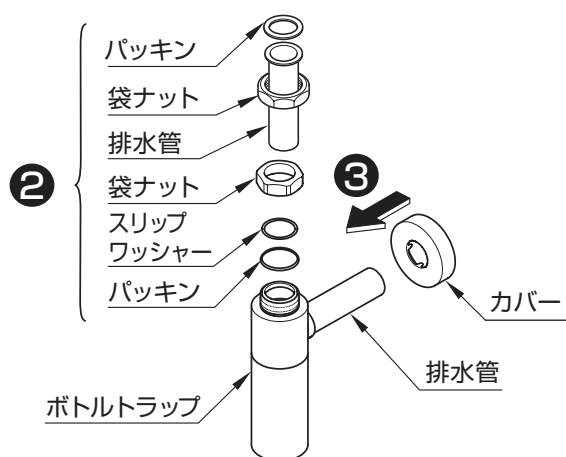
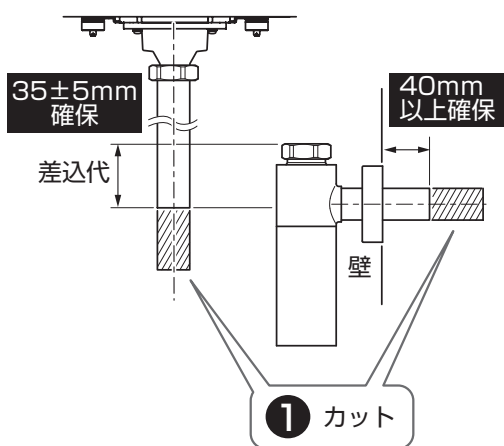
7 排水トラップの取り付け

床排水の場合



壁排水の場合





8 バックパネル(オプション)の取り付け

参照 バックパネルに同梱の施工説明書を参照してください。

9 水漏れの確認

通水確認を実施し各接合部より水漏れがないことを確認してください。

10 シリコン系シーล材の塗布

警告



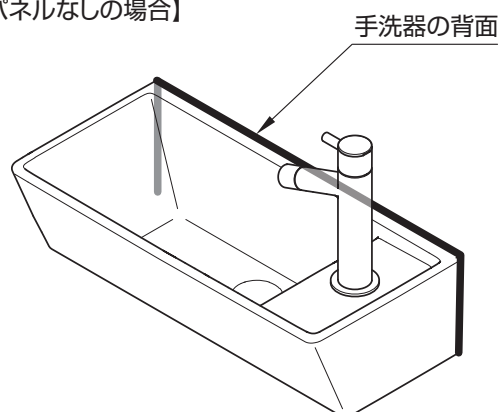
必ず守る

シリコン系シーล材の塗布(コーキング)は確実に
水などがコンセントにかかり、火災や感電の原因
となります。

※ジョイントコークなどの水溶性のコーキングは使用しないでください。

※防カビ性の透明シリコン系シーล材(別途手配)

【バックパネルなしの場合】



【バックパネルありの場合】

